

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年3月31日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市吉村町江田原甲265-1
名 称 憶地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 松竹 昭彦
電話番号 (0985) 28-0101

令和6年9月17日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実績報告・収支決算(見込)書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 地域協議会の意見書
- (ニ) 備品管理台帳
- (ホ) 繰越届出書
- (ヘ) 積立金管理状況報告書

令和6年度 事業実績報告・収支決算（見込）書

憶地域自治区
憶地域まちづくり推進委員会

1 総括

令和6年度はコロナの影響も少なくなり、コロナ禍以前の事業が予定通り実施できました。

しかしながら、再開した事業も部会員の高齢化に伴い、体力を必要とする事業を見直す必要性を感じました。また、事業再開に伴う事務局の業務量の増加がありました。

次年度は高齢化への対応や事務局の負担軽減を図りたいと考えておりますが、今年度は、想定を上回る成果を上げることが出来ました。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	7,095,000	7,095,000	0	
繰越金	1,723,879	1,723,879	0	
負担金・助成金	300,000	390,000	90,000	
受益者負担金	398,000	213,800	▲ 184,200	
県からの補助金	442,500	442,000	▲ 500	
自己資金	1,000	90,392	89,392	
合 計	9,960,379	9,955,071	▲ 5,308	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	憶地域防災対策事業	17年目	227,000	67,648	▲ 159,352	
防	憶地域青色パトロール推進事業	14年目	152,000	110,408	▲ 41,592	
防	備蓄非常食購入事業	13年目	1,000	1,184	184	
福	子育て支援事業	17年目	39,000	1,649	▲ 37,351	
福	ふれあい会食会事業	15年目	330,000	218,401	▲ 111,599	
福	福祉講演会事業	3年目	54,000	6,000	▲ 48,000	
福	高齢者交流事業	3年目	54,000	32,470	▲ 21,530	
環	一ッ葉入り江を市民の里浜にする事業	17年目	358,000	159,019	▲ 198,981	
環	新別府川・江田川等をきれいにする事業	17年目	140,000	104,489	▲ 35,511	
環	憶地域花いっぱい運動事業	12年目	168,000	76,579	▲ 91,421	
再	地域まちづくり掲示板設置事業	17年目	304,400	40,700	▲ 263,700	
再	憶地域人材育成事業	11年目	659,000	664,800	5,800	
健	憶地域健康づくり事業	17年目	82,000	30,513	▲ 51,487	
健	ニュースポーツ体験事業	7年目	104,000	3,000	▲ 101,000	
伝	あおきの文化の継承・発掘・保存事業	17年目	189,000	38,580	▲ 150,420	
伝	あおきのカレンダー製作事業	11年目	201,000	176,000	▲ 25,000	
教	未来につなぐ体験スクール事業	16年目	70,000	17,141	▲ 52,859	
教	あおき地域すごろくゲーム作成事業	4年目	213,000	159,500	▲ 53,500	
教	地域と学校の連携事業	14年目	484,000	267,604	▲ 216,396	
他	まちづくりの祭典inあおき事業	17年目	1,054,000	1,095,201	41,201	
他	憶・生目交流事業	8年目	70,000	15,634	▲ 54,366	
他	曾於市憶地区交流事業	2年目	31,000	1,800	▲ 29,200	
他	新築移転時の事務器等購入積立事業	2年目	100,000	100,000	0	
他	憶地域まちづくり推進委員会運営事業	17年目	4,386,479	4,100,931	▲ 285,548	
他	みんなで守ろう一ッ葉の海岸林事業	1年目	489,500	451,000	▲ 38,500	新規
	繰 越 金		0	2,014,820	2,014,820	
	合 計		9,960,379	9,955,071	▲ 5,308	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	憶地域防災対策事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【安全・安心づくりプロジェクト】 ◎安心・安全向上 防災意識の向上啓発及び防災士等の人材育成とその活用														
目的 (期待される効果)	憶地域管内居住者の防災・減災の意識向上を図る。														
事業内容・手段	<p>(1) 憶地区自治会連合会・憶地区社会福祉協議会他と連携して、4小学校を避難訓練場所とし合同防災訓練を実施した。 実施日：令和6年11月4日(月)振替休日</p> <p>(2) 小学校の防災学習の支援 憶地域管内の3小学校(憶北小・憶小・潮見小)の防災学習の図上訓練やフィールドワークに協力した。 実施時期 通年</p> <p>(3) 防災かまどの周知 ①憶児童センターの「子育て交流ひろば」で防災かまどを使用してピザ焼体験を行った。 実施日：令和7年2月2日(日)</p>														
事業費	67,648円														
対象者	憶地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,211人</td> <td>1,139人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>215人</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,426人</td> <td>1,345人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,211人	1,139人	スタッフ	215人	206人	合計	1,426人	1,345人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,211人	1,139人													
スタッフ	215人	206人													
合計	1,426人	1,345人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災かまど自体が地域事務所に設置してあることを知らなかった。 ・こんなに美味しいピザが焼けるのにびっくりした。 ・地区の自治会でもピザ窯体験を実施できるよう提案したい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[憶地域防災対策事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	防災かまどを子どもや保護者、地域住民に関心を得ることができた。	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A		A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎県の防災訓練に合わせて憶地域合同防災訓練を地域内の小学校で消防団の協力のもと実施した。 管内3小学校に防災教育の支援ができた。図上訓練やフィールドワーク等他団体等の協力を得て充実した教育ができた。 憶児童センターと連携して「防災かまどでピザ焼の体験事業」を実施し参加した子どもや保護者に防災かまどを周知することができた。 								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
		<意見への対応>						対応	未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[憶地域青色パトロール推進事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A				
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
	自動ブレーキ等安全装置付き車両で安全面に配慮して実施できた。						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	備蓄非常食購入事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【安全・安心づくりプロジェクト】 ◎安心・安全向上 防災意識の向上啓発及び防災士等の人材育成とその活用														
目的 (期待される効果)	災害時のための非常食を購入し備蓄する。														
事業内容・手段	(1) 備蓄非常食(水)の調査 備蓄非常食(水)の保管状況や賞味期限などの調査を行った。 (2) 備蓄非常食(水)の周知 入替後の備蓄非常水を「まちづくりの祭典inあおき」や各部会等で地域住民に配布して防災意識の向上を図るとともに非常備蓄食(水)の周知を行なった。 ・実施日：令和6年12月10日(日)														
事業費	1,184円														
対象者	億地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>27人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>27人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	27人	8人	合 計	27人	8人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	27人	8人													
合 計	27人	8人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[備蓄非常食購入事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A		
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
効果的・効率的な取組み	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性			有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済		
	<意見への対応>							未・済		
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済		
	<意見への対応>							未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	子育て支援事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【夢づくりプロジェクト】 ◎教育環境づくり 子育て支援の充実														
目的 (期待される効果)	子育てに悩む保護者を支援する。														
事業内容・手段	<p>(1) 地域内の子育て事業の支援 憶児童センターや宮崎地区交流センターと連携し、センター主催の事業にまちづくり推進委員会からも参加し運営協力を行う。</p> <p>①憶児童センター主催の講演会時の未就学児預かり 実施日：令和6年5月30日(木) 実施場所：憶児童センター</p> <p>②憶児童センターの「憶の発見とピザ焼体験」での講話協力 実施日：令和7年2月2日(日) 実施場所：憶地域事務所・憶地区交流センター</p> <p>③憶地区社協の「ミニチビッコ運動会」事業連携協力 実施日：令和6年10月17日(木) 実施場所：新別府町自治公民館</p>														
事業費	1,649円														
対象者	憶地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>59人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74人</td> <td>111人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	59人	80人	スタッフ	15人	31人	合計	74人	111人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	59人	80人													
スタッフ	15人	31人													
合計	74人	111人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・チビッコ運動会は未就学児と保護者で実施しているが、両親の祖父母の方々も応援で参加があり好評だった。 ・防災かまどで焼いたピザが美味しかった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[子育て支援事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		○有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ 来年は「櫛の古墳」ではなく、児童センター打合せして一ツ葉「まも林」と一緒にピザ焼を実施したい。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	ふれあい会食会事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	【元気づくりプロジェクト】 ◎地域福祉の充実 地域福祉活動と人材育成による組織強化の推進														
目的 (期待される効果)	自宅に引きこもりがちな高齢者に交流の場を作る。														
事業内容・手段	(1) 「ふれあい会食会」の実施 実施日：通年 実施場所：檜地域管内の自治公民館・集会場等13か所で開催 ※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年も開催を控えた地区もあつたが13か所で開催できた。														
事業費	218,401円														
対象者	檜地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>236人</td> <td>263人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>111人</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>347人</td> <td>402人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	236人	263人	スタッフ	111人	139人	合計	347人	402人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	236人	263人													
スタッフ	111人	139人													
合計	347人	402人													
住民の声 (アンケートの結果等)	高齢者の方々が久々に顔を合わせて一緒にゲームを楽しんだり会食を行ったが、参加者は満足していた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[ふれあい会食会事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A		
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		○有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・コロナで中止した地区でまだ再開していない地区もあるので、来年度は再開してもらおうよう声かけしたい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	福祉講演会事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始： 令和4年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【元気づくりプロジェクト】 ◎地域福祉の充実 地域福祉活動と人材育成による組織強化の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>全ての世代を対象に、福祉に関する講演会を開催することで、福祉についての理解を深める。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 講演会の開催 聴覚障がい者への理解を深め、普段の生活の中や災害発生時に開設された避難所などで想定される聴覚障がい者とのコミュニケーションの場で役に立つ、手話を学ぶ。 演題：「手話って、な～に？」～手話体験しよう！～ 講師：守永 美子 実施日：令和6年9月28日(土) 実施場所：宮崎地区交流センター学習室</p>														
事業費	6,000円														
対象者	憶地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>39人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>23人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	39人	14人	スタッフ	23人	17人	合計	62人	31人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	39人	14人													
スタッフ	23人	17人													
合計	62人	31人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日学んだ手話で名前をお知らせしたい。 ・ 次回もまた参加したい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[福祉講演会事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A		
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・講演会の参加者が多く会場にスタッフが入れなかった。来年は会場を広い場所に変更して開催したい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見> <意見への対応>					対応	未・済		
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	高齢者交流事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始： 令和4年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【元気づくりプロジェクト】 ◎地域福祉の充実 地域福祉活動と人材育成による組織強化の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>憶地区老人クラブ連合会と連携し事業の協力を行うことで元気な高齢者の増加につながり、老人クラブの加入促進を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>憶地区老人クラブ連合会との連携事業</p> <p>(1) 憶地区老人クラブ連合会主催の歩こう会や運動会等のスポーツ事業等の運営協力を行った。</p> <p>(2) スポーツ大会時に啓発用品を配布し、高齢者同士の親睦を深めてもらうことで「さんさんクラブ宮崎市」への加入を促した。</p> <p>①歩こう会 実施日：令和6年6月14日(金) 実施場所：市民の森</p> <p>②憶地区老人クラブ運動会 実施日：令和6年10月30日(水) 実施場所：新別府ゲートボール場</p>														
事業費	32,470円														
対象者	憶地域管内70歳以上の高齢者等														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>237人</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>250人</td> <td>245人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	237人	226人	スタッフ	13人	19人	合 計	250人	245人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	237人	226人													
スタッフ	13人	19人													
合 計	250人	245人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[高齢者交流事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の 効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・歩こう会が実施され、啓発用品としてゴミ袋などの生活必需品を配布したが、参加された高齢者からは好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>			対応		未・済		
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> なし <意見への対応>			対応		未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎まち環境美化整備 美しいまちをつくり守るための活動の推進 ◎自然環境美化整備 自然を守り育て、憶の里山風景をつくる活動の推進														
目的 (期待される効果)	希少生物の生息する一ツ葉入り江の干潟の重要性を啓発保存し、市民がいやしの場として活用する里浜にすると共に、児童生徒の自然環境を大切にする気持ちを育む学習の場としても活用する。														
事業内容・手段	(1) 一ツ葉入り江、砂嘴清掃作業 内容：砂嘴除草・清掃 実施日：令和6年4月11日(木)13日(土) 実施場所：一ツ葉入り江砂嘴周辺、阿波岐原森林公園 (2) コアジサシ保護活動 実施期間：令和6年4月～6月 実施場所：一ツ葉入り江砂嘴周辺、阿波岐原森林公園 (3) 野鳥観察会 実施日：中止 (4) 干潟観察会 実施日：令和6年7月10日(水)・・・柴漬け 令和6年7月24日(水)・・・観察会 (5) 一ツ葉入り江全体清掃 実施日：令和6年11月10日(日) 実施場所：一ツ葉入り江砂嘴周辺、阿波岐原森林公園														
事業費	159,019円														
対象者	憶地域内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>186人</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>128人</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>314人</td> <td>453人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	186人	304人	スタッフ	128人	149人	合 計	314人	453人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	186人	304人													
スタッフ	128人	149人													
合 計	314人	453人													
住民の声(アンケートの結果等)	・近くにこんな干潟があるのを知らなかった。また参加したい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	B
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性		○有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> なし				対応	未・済	
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> なし				対応	未・済	
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	新別府川・江田川等をきれいにする事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎まち環境美化整備 美しいまちをつくり守るための活動の推進 ◎自然環境美化整備 自然を守り育て、櫛の里山風景をつくる活動の推進														
目的 (期待される効果)	ふるさとの川である新別府川・江田川等を、花の景観を楽しめる川にする。 住民が自慢できる川に生まれ変わらせる。 川に生息する希少植物を保護する。														
事業内容・手段	(1) 新別府川・江田川クリーン作戦 実施日：令和6年6月8日(土) 11月10日(日) (2) ホタルの飼育、放流 ①飼育 実施期間：令和6年5月～令和7年2月 実施場所：部会員宅 ②宮崎県ホタルサミット参加 開催日：令和6年8月24日(土) 開催場所：櫛地区交流センター ③放流 実施日：令和7年2月23日(日) (3) 河川水質検査 実施日：令和6年8月、令和7年2月 実施場所：新別府川・江田川 (4) 両河川の関係機関に対する整備依頼・・・中止 (5) 管内施設でのミニ水族館 実施期間：令和6年10月～令和6年12月 実施場所：櫛北小学校														
事業費	104,489円														
対象者	櫛地域内住民、各小中学校児童、生徒、職員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>789人</td> <td>717人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>112人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>901人</td> <td>857人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	789人	717人	スタッフ	112人	140人	合 計	901人	857人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	789人	717人													
スタッフ	112人	140人													
合 計	901人	857人													
住民の声(アンケートの結果等)	(地域事務所玄関に設置したホタル育成キットを見た来所者から)ホタルの幼虫がこんな形をしているとは思わなかった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [新別府川・江田川等をきれいにする事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A				
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・今後も地域事務所玄関にホタル育成キットを設置し、来所者等にも広く周知していきたい。 幼虫100匹を放流し87匹が成虫になったので大成功だった。						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	憶地域花いっぱい運動事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎まち環境美化整備 美しいまちをつくり守るための活動の推進														
目的 (期待される効果)	憶地域を花いっぱいにする運動を展開し、花によって彩りと豊かな心で過ごせる地域にする。 ”ひまわり”の里親となって、東日本大震災により大きな被害を受けた福島と絆を結び、福島の人々に元気や勇気を取り戻してもらおう。														
事業内容・手段	①花の種や球根を管内住民希望者に事務局で配布し、各家庭で育ててもらい一年中花のあふれる地域にする。 実施時期：通年 実施場所：憶地域管内 ②福島ひまわり里親プロジェクト事業への参加協力。 実施時期：通年 実施場所：中央公園花壇、憶地域事務所駐車場花壇 地域管内の住民の花壇及び畑 ③地域事務所駐車場花壇に、市から配布された花の苗とひまわりの種を植栽する。 実施時期：通年 実施場所：憶地域事務所駐車場花壇														
事業費	76,579円														
対象者	憶地域内住民、各小中学校児童、生徒、職員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>101人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>175人</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>276人</td> <td>286人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	101人	101人	スタッフ	175人	185人	合計	276人	286人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	101人	101人													
スタッフ	175人	185人													
合計	276人	286人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [憶地域花いっぱい運動事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	地域まちづくり掲示板設置事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【誇りづくりプロジェクト】</p> <p>◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実</p>														
目的 (期待される効果)	<p>掲示板を設置することにより地域住民にまちづくり推進委員会の活動を周知し、自治会加入促進に繋がるようにする。 空き地や用水路等に不法投棄ゴミが減る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 掲示板の設置 ①今年度は設置なし ②以前設置した掲示板の引き戸修理交換 実施場所：浮城公民館・高洲自治会</p> <p>(2) 不法投棄禁止の表示板の配付 各自治会のごみ集積所や空き地、用水路等に不法投棄ゴミが増えてきたため不法投棄禁止の表示板を作成し希望する自治会に配布した。 実地日：通年 枚数：5枚</p>														
事業費	40,700円														
対象者	億地域管内自治会、地縁団体														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	4人	27人	合 計	4人	27人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	4人	27人													
合 計	4人	27人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・ 掲示板の戸の開閉が重くなっていたが、修理してもらったことにより使いやすくなった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [地域まちづくり掲示板設置事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ゴミ不法投棄の啓発看板を希望する自治会のゴミ集積場や空き地、用水路脇に設置し、不法投棄が減少傾向になったと好評だった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	憶地域人材育成事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実</p>														
目的 (期待される効果)	<p>さまざまな体験を通じて心温まるつながりを育み、一人ひとりが元気で生き生きと学びながら「まちづくり」を行い、輝く時間を創っていく。 キーワードは「楽しい」</p>														
事業内容・手段	<p>・「あおき元輝塾」の開催</p> <p>①平成28年(2016年)に発生した熊本地震の復興状況を視察 今後数十年間に発生が予測される「南海トラフ大地震」の対策の参考にする。 実施日：令和6年10月10日(木)～11日(金) 視察先：熊本市、人吉市</p>														
事業費	664,800円														
対象者	憶地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>21人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>24人</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	21人	27人	スタッフ	3人	10人	合 計	24人	37人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	21人	27人													
スタッフ	3人	10人													
合 計	24人	37人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・熊本地震は1回ではなく数日間にわたり震度6以上の地震が4回もあったことを知らなかった。 ・地震の怖さを痛感した。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [憶地域人材育成事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性		○有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	憶地域健康づくり事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【元気づくりプロジェクト】 ◎健康スポーツレクリエーション振興と施設設備 気軽にスポレクに親しめる活動や人材・組織育成と施設整備の推進														
目的 (期待される効果)	憶地域管内に居住される方々が、スポーツ大会に参加しふれあうことで、体力づくりと懇親を深め、参加者同士の連携・協力の意識向上につなげる。														
事業内容・手段	子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方々が参加できるイベントを安全に配慮しながら開催する。 ①ミニバレーボール大会 実施日：令和6年5月26日（日） 実施場所：憶小学校体育館 ②歩こう会 実施日：令和6年10月6日（日）雨天中止 実施場所：宮崎臨海公園南ビーチ														
事業費	30,513円														
対象者	憶地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>59人</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72人</td> <td>135人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	59人	97人	スタッフ	13人	38人	合計	72人	135人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	59人	97人													
スタッフ	13人	38人													
合計	72人	135人													
住民の声（アンケートの結果等）	日頃のストレスを発散でき、親睦を図ることができました。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[憶地域健康づくり事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	ニュースポーツ体験事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【元気づくりプロジェクト】 ◎健康スポーツレクリエーション振興と施設設備 気軽にスポレクに親しめる活動や人材・組織育成と施設整備の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>憶地域管内に居住される方々が様々な種目を体験することでニュースポーツに対する理解を深め、健康維持増進を促すとともに親睦を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>①「未来につなぐ体験スクール」での体験実施 実施日：令和6年10月12日(土) 場所：憶地区交流センター</p> <p>②「ふれあい会食会」での体験実施 実施日：通年 場所：憶地域内</p>														
事業費	3,000円														
対象者	憶地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>100人</td> <td>301人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>108人</td> <td>463人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	100人	301人	スタッフ	8人	162人	合計	108人	463人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	100人	301人													
スタッフ	8人	162人													
合計	108人	463人													
住民の声(アンケートの結果等)	.														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[ニュースポーツ体験事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ニュースポーツの体験で「ドッチビー」が毎回大好評で次回も実施したい。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	あおきの文化の継承・発掘・保存事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【誇りプロジェクト】</p> <p>◎伝統文化継承発展 伝統や文化を守り育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>「櫛の盆踊り（踊り・唄・太鼓・お囃子）」をはじめとした、「櫛の文化」を後世に継承する。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 「櫛の盆踊り（踊り・唄・太鼓・お囃子）」の継承</p> <p>①管内の小中学校や地域の団体に、地域の方を講師として派遣し、「櫛の盆踊り（踊り・唄・太鼓・お囃子）」の指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・櫛小学校3年生盆踊り授業 実施日：令和6年9月6日（金）、10月4日（金） 場所：櫛小学校 <p>②「櫛の盆踊り（踊り・唄・太鼓・お囃子）」を録音したCDを、継承活動を実施している団体に配布し、練習や発表に活用してもらう。</p> <p>(2) 地域の文化の調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区で開催されている盆踊りや夏祭りの日時を調整した。 														
事業費	38,580円														
対象者	櫛地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>226人</td> <td>232人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>238人</td> <td>250人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	226人	232人	スタッフ	12人	18人	合 計	238人	250人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	226人	232人													
スタッフ	12人	18人													
合 計	238人	250人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>昨年コロナが第5類に引き下げられ、地域内の自治会主催の盆踊りが復活して開催されている。新しい自治会長は盆踊り唄のCDや踊りのDVDがあるのを知らないため事務局が広報して希望自治会に配布し好評だった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [あおきの文化の継承・発掘・保存事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		○有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	あおきのカレンダー製作事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実														
目的 (期待される効果)	憶地域管内の風景や名所・旧跡を載せたカレンダーを製作し、地域の良さを再発見するきっかけを作る。														
事業内容・手段	管内の名所、旧跡、観光地等のイラストを記載して、地域の事を再発見するきっかけを作るカレンダー作成。 実施日：通年 実施場所：憶地域管内 配布時期：令和7年3月～ 製作部数：B3（200枚）A3（300枚）A4（800枚）														
事業費	176,000円														
対象者	憶地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>78人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78人</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	78人	48人	合計	78人	48人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	78人	48人													
合計	78人	48人													
住民の声 (アンケートの結果等)	憶地域まちづくり推進委員会のカレンダーは4月から翌年3月まで1年間で、イラストのデザインや色使いが良いと好評で、事務局にいつから配布するのかと問合せが多くあった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [あおきのカレンダー製作事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性			有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・カレンダーは（B3、A3、A4）作成したが、A4サイズが大好評なので、今年度も枚数を800枚印刷して対応した。						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見> <意見への対応>					対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	未来につなぐ体験スクール事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【夢づくりプロジェクト】</p> <p>◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>檜地域管内の小中学校の児童・生徒が交流を持つ機会を作る。 また、地域の方々に講師になっていただき、子どもたちに将来役立つ知識を身につけてもらう。</p>														
事業内容・手段	<p>火おこし体験・調理、なたね油の抽出体験を実施した。新聞紙でのスリッパ作り、ニュースポーツ体験他</p> <p>実施日：令和6年10月12日（土） 実施場所：檜地区交流センター</p>														
事業費	17,141円														
対象者	檜地域管内小中学校児童・生徒														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>22人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>18人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	22人	38人	スタッフ	18人	21人	合計	40人	59人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	22人	38人													
スタッフ	18人	21人													
合計	40人	59人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・未来につなぐ体験スクールで参加者に「一ツ葉松林」の講話を、阿波岐原森林公園管理事務所からしてもらった。子どもたちはぜひ植林活動に参加したいとの声が多かった。 ・なたね油は知っていたが、なたねを絞って抽出するのは知らなかった。いい勉強になった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [未来につなぐ体験スクール事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性		○有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	あおき地域すごろくゲーム作成事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始： 令和3年度	終了： 令和6年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【夢づくりプロジェクト】</p> <p>◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の事を再発見するきっかけを作り、それぞれの場所にまつわるエピソードを知ってもらうことで、地元愛の育成につなげる。</p>														
事業内容・手段	<p>憶地域管内の名所・旧跡や観光地、また小中学校を含む公共施設を記載して、憶地域事務所（まちづくり事務局）をスタート・ゴールにして地域管内を周回するすごろくゲームを作成することで、憶のお宝の再発見のきっかけをつくる。</p> <p>※令和6年度は、11月にポイント場所を見直し、改訂版の別冊の解説文を作成して12月の「まちづくりの祭典inあおき」で配布し好評であった。</p> <p>実施日：通年 実施場所：憶地域管内</p>														
事業費	159,500円														
対象者	憶地域管内小中学校児童・生徒・地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	20人	20人	合 計	20人	20人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	20人	20人													
合 計	20人	20人													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [あおき地域すごろくゲーム作成事業]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> すごろくゲームとは別に、厚紙に切り取り線をいれたサイコロ用紙を作成した が展開図の学習になると好評だった。						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未 ・ 済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未 ・ 済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(憶北小学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【夢づくりプロジェクト】 ◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進														
目的 (期待される効果)	地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。														
事業内容・手段	①あいがも米を育てよう(5年生) 地域と学校、PTAが連携し、田植えから稲刈りを通して、日本の食「米」について学ぶ。 実施期間：令和6年5月～9月6日 ②6年生憶の総合学習の講話実施 実施日：令和6年6月25日(月) ③ホテルの学習の講話実施(3年生) 実施日：令和6年9月29日(金) ④ミニ水族館の展示 実施期間：令和6年10月～12月 ⑤5年生の防災学習支援 実施期間：令和7年1月28日(火)・2月4日(火) ⑥ホテル幼虫の飼育(3年生) 実施期間：令和6年10月～令和7年2月														
事業費	75,680円														
対象者	憶北小学校児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,097人</td> <td>1,515人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>92人</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,189人</td> <td>1,609人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,097人	1,515人	スタッフ	92人	94人	合 計	1,189人	1,609人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,097人	1,515人													
スタッフ	92人	94人													
合 計	1,189人	1,609人													
住民の声(アンケートの結果等)	幼虫から光っているのを知らなかった。 ホテルの幼虫の姿がこわかったが、飼育観察を続けていたらかわいくなった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

[地域と学校の連携事業(億北小学校)]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(檜小学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	【夢づくりプロジェクト】 ◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進														
目的 (期待される効果)	地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。														
事業内容・手段	①「檜の盆踊り(踊り・唄・太鼓・お囃子)」の指導(3年生が運動会で発表する)で「檜の盆踊り」の指導の実施。 実施日：令和6年9月6日(金)、10月4日(金) ②「ふるさと檜を調べよう」事業(6年生の総合的な学習の時間で実施)において地域の方々による講話を実施する。 実施日：令和6年10月4日(金) ③「防災マップを作ろう」事業(4年生の総合的な学習の時間で実施)の一環で児童と地域住民、保護者、防災関係者が一緒に図上訓練を行なった後校区内を歩き、危険箇所や避難場所等の調査を行う。 ・「図上訓練」・・・令和6年11月20日(水) ・「フィールドワーク」・令和6年12月11日(水)														
事業費	35,680円														
対象者	檜小学校児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>560人</td> <td>647人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>52人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>612人</td> <td>656人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	560人	647人	スタッフ	52人	9人	合計	612人	656人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	560人	647人													
スタッフ	52人	9人													
合計	612人	656人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）【地域と学校の連携事業(億小学校)】

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	B	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		○有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(宮崎港小学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>【夢づくりプロジェクト】</p> <p>◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>①「ミシンでソーイング」事業(5年生・6年生の総合的な学習の時間で実施)の一環でクラスごとに児童と一緒にミシンの操作指導を行いながら、ランチョンマット・ナップザックを作成した。 実施日：令和6年10月2日(水)3日(木) 12月17日(火)19日(木)</p> <p>②「港獅子」(宮崎港小伝統)を運動会やまちづくりの事業や地域の文化祭で発表するために、獅子舞継承の支援を行った。 実施日：通年</p> <p>③「1年生の生活科授業支援」で昔遊びを中心に児童と一緒に楽しんだ。 実施日：令和6年11月20日(水)11月28日(木) 12月18日(水)</p>														
事業費	64,445円														
対象者	宮崎港小学校児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>348人</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>56人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>404人</td> <td>265人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	348人	218人	スタッフ	56人	47人	合計	404人	265人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	348人	218人													
スタッフ	56人	47人													
合計	404人	265人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）【地域と学校の連携事業(宮崎港小)】

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(潮見小学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【夢づくりプロジェクト】</p> <p>◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>①「作ろう防災マップ」事業(5年生の総合的な学習の時間で実施)において、防災の専門家、地域の方、保護者の方の協力を得て講話を実施し、地域内の現状を調査する授業の支援を行う。 ・「図上訓練」「フィールドワーク」 実施日：令和6年7月5日(金)</p> <p>②「むかしのあそびをたのしもう」事業(1年生の総合的な学習の時間で実施)において、けん玉やコマまわしやおはじき等昔の遊びを地域の方々の協力で支援を行う。 実施日：令和7年1月24日(金)</p>														
事業費	7,680円														
対象者	潮見小学校児童														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>188人</td> <td>156人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>36人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>224人</td> <td>176人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	188人	156人	スタッフ	36人	20人	合計	224人	176人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	188人	156人													
スタッフ	36人	20人													
合計	224人	176人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）[地域と学校の連携事業(潮見小学校)]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(櫛中学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	【夢づくりプロジェクト】 ◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進														
目的 (期待される効果)	地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。														
事業内容・手段	①福島から購入したひまわりの種を学校と宮崎中央公園花壇で栽培し、収穫した種を福島に送付する。宮崎中央公園花壇を地域の方々の支援を得て宮崎中学校と協力しながら管理した。(福島ひまわりプロジェクト) 実施日：通年 ひまわり種送付作業：令和7年2月22日(土) 実施場所：学校花壇、宮崎中央公園花壇、櫛地域事務所 ②コアジサシを保護する目的で一ツ葉入り江の清掃活動を行なった。(コアジサシプロジェクト) 実施日：令和6年11月10日(日) 実施場所：一ツ葉入り江干潟周辺 ③宮崎中学校と相互訪問を行って交流の場を設ける。また、部会員も参加して意見交換会を行う。 実施日：令和6年8月5日(月)、12月26日(木) 実施場所：みやざき青雲 ④2年生調理実習支援を行った。 実施日：令和7年2月17日(月)2月21日(金)														
事業費	35,087円														
対象者	櫛中学校・宮崎中学校生徒														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>271人</td> <td>742人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>60人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>331人</td> <td>804人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	271人	742人	スタッフ	60人	62人	合 計	331人	804人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	271人	742人													
スタッフ	60人	62人													
合 計	331人	804人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [地域と学校の連携事業(憶中学校)]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性			○有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				<意見への対応>		対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				<意見への対応>		対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	地域と学校の連携事業(宮崎中学校)	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【夢づくりプロジェクト】</p> <p>◎人づくり 我がまちを大切に思う心の育成や地域の未来の担い手を育てる活動の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域と学校、PTAが共に事業を行うことで双方向の連携を深め、まちづくりの人材を発掘、育成することにより、地域まちづくりの継続的な発展を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>①福島から購入したひまわりの種を学校と宮崎中央公園花壇で栽培し、収穫した種を福島に送付する。宮崎中央公園花壇を地域の方々の支援を得て憶中学校と協力しながら管理する。(福島ひまわりプロジェクト) 実施日：通年 ひまわり種送付作業：令和7年2月22日(土) 実施場所：学校花壇、宮崎中央公園花壇、憶地域事務所</p> <p>②コアジサシを保護する目的で一ツ葉入り江の清掃活動を行なった。(コアジサシプロジェクト) 実施日：令和6年11月10日(日) 実施場所：一ツ葉入り江干潟周辺</p> <p>③憶中学校と相互訪問を行って交流の場を設ける。また、部会員も参加して意見交換会を行う。 実施日：令和6年8月5日(月)、12月26日(木) 実施場所：みやざき青雲</p>														
事業費	49,032円														
対象者	宮崎中学校・憶中学校生徒														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>84人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>74人</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>158人</td> <td>203人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	84人	150人	スタッフ	74人	53人	合計	158人	203人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	84人	150人													
スタッフ	74人	53人													
合計	158人	203人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [地域と学校の連携事業(宮崎中学校)]

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A				
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他に係る事業

事業名	まちづくりの祭典inあおき事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実</p>														
目的 (期待される効果)	<p>檜地域自治区管内のさまざまな方々とふれあい交流を図り、活気あふれる魅力的な地域にする。</p>														
事業内容・手段	<p>農水産物紹介・ふるまい・ものづくり・人々の交流・各部会の活動紹介コーナー・生目地区紹介コーナーなどを設け、「まちづくりの祭典inあおき」を開催した。 檜地区社会福祉協議会の「檜地区健康ふくしまつり」と同時に規模を拡大して開催した。 実施日：令和6年12月8日（日） 実施場所：檜地域事務所・檜地区交流センター・北消防署東分署・檜中学校</p> <p>*9月よりチラシ配布を行い、関係団体との調整や実行委員会を開催しまちづくりは檜地域事務所、檜地区交流センター、北消防署東分署で、檜地区社協は檜中体育館で開催した。</p>														
事業費	1,095,201円														
対象者	檜地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,110人</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>290人</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,400人</td> <td>1,350人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	1,110人	1,000人	スタッフ	290人	350人	合 計	1,400人	1,350人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	1,110人	1,000人													
スタッフ	290人	350人													
合 計	1,400人	1,350人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>感染対策緩和後の開催で参加団体や集客等懸念されたが、多くの方が来場された。これからも、こういうイベントをどんどんやって欲しいとの要望があった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [まちづくりの祭典inあおき事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		A			A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 今年度も檜地区社会福祉協議会の「檜地区健康ふくしまつり」と共催で規模を拡大して開催した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他に係る事業

事業名	檜・生目交流事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>【誇りづくりプロジェクト】 ◎地場産業振興 地産地消の推進・PRによるまちの経済活性化の推進</p>														
目的 (期待される効果)	<p>災害発生時に檜・生目の両地域の地域間の支援を行うことを前提に、地域文化や地域情報の交流を深め、両地区の相互発展を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>「生目地区総合文化祭」に檜地域が、「まちづくりの祭典 in あおき」に生目地域が相互訪問し、両地区で生産される農水産物の紹介を行い両地区管内の人々の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生目地区総合文化祭」令和6年11月24日(日) ・「まちづくりの祭典 in あおき」令和6年12月8日(日) ・「交流会」令和7年2月20日(木) 研修会：南海トラフ地震の対応、一ッ葉海岸防風・防潮林保護活動 現地視察：「命の丘」、「一ッ葉まも林」 														
事業費	15,634円														
対象者	檜・生目地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>33人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>33人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	33人	18人	合 計	33人	18人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	33人	18人													
合 計	33人	18人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

「憶・生日交流事業」

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A				
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済
	<意見への対応>						

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	曾於市憶地区交流事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始： 令和5年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎地場産業振興 地産地消の推進・PRによるまちの経済活性化の推進														
目的 (期待される効果)	鹿児島県曾於市南之郷に同じ字の憶地区があり、大淀川の源流地点でもある。憶地区には、同じような神話・伝説が伝えられており、大淀川源流地の曾於市憶地区と下流川口部の憶地域が今後交流を深め研鑽していく。														
事業内容・手段	①鹿児島県曾於市憶地区がまちづくりの祭典に出店 実施日：令和6年12月8日（日） 実施場所：憶地域事務所														
事業費	1,800円														
対象者	憶地域管内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	0人	21人	スタッフ	6人	10人	合 計	6人	31人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	0人	21人													
スタッフ	6人	10人													
合 計	6人	31人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・曾於市憶地区には憶小学校（児童数38名）もあり、今回は校長も一緒に参加してもらい、小学校同士の交流につながることも意識して実施した。 ・どうして山間部の憶地区に、同じようなイザナギ命やイザナミ命神話伝説やみそぎ川等が伝承されているのだろうか？ 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [曾於市檜地区交流事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A		
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>					未・済			
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>					未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他に係る事業

事業名	憶地域まちづくり推進委員会運営事業	実施年数	17年目												
事業期間	開始：平成20年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実														
目的 (期待される効果)	憶地域まちづくり推進委員会の円滑な運営を行う。														
事業内容・手段	①部会の開催・住民の理解を得るための広報活動 ②まちづくり推進委員会の消耗品などの購入 ③まちづくり事務局員の勤務時間外手当の支払い 実施日：通年 実施場所：憶地域まちづくり推進委員会事務局														
事業費	4,100,931円														
対象者	まちづくり事務局														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [憶地域まちづくり推進委員会運営事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他に係る事業

事業名	新築移転時の事務器等購入積立事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始： 令和5年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実														
目的 (期待される効果)	令和9年度に建て替え移転する際の、事務局の事務機器購入費を積立てする。														
事業内容・手段	①事務局が移転する際の机・ロッカー・書棚等の備品購入費50万円を目標に毎年10万円ずつ5年間積み立てする。 実施日： 通年 実施場所： 檜地域まちづくり推進委員会事務局														
事業費	100,000円														
対象者	まちづくり事務局														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声 (アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [新築移転時の事務器等購入積立事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他に係る事業

事業名	みんなで守ろうツ葉の海岸林事業(新規)	実施年数	1年目												
事業期間	開始： 令和6年度	終了： なし													
地域魅力発信 プランとの関連	【誇りづくりプロジェクト】 ◎地域情報提供の充実 地域の魅力の情報発信や案内等の充実														
目的 (期待される効果)	古き祖先から引き継いできた白浜青松のツ葉海岸松林の暴風・防潮林が、ここ10年で松くい虫による立ち枯れ被害が多発して伐採され、虫食い状態となっており大きな被害が発生している。 対策として年に数回、ヘリコプターによる薬剤散布も行われているが被害は年々拡大している現状がある。そのため当委員会事業として植林保全活動を、地域内の小中学校を含めた団体・企業と連携して、以前の防風・防潮林として美しい松林を再生する。														
事業内容・手段	地域内の小中学校を含めた団体・企業と連携して、1回目の植林を実施した。 実施日：令和6年12月1日(日)														
事業費	451,000円														
対象者	実行委員会(憶地域の各種団体)														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>275人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>25人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>300人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	275人		スタッフ	25人		合計	300人	
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	275人														
スタッフ	25人														
合計	300人														
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） [みんなで守ろうーツ葉の海岸林事業]

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A			広報	⑤事業の周知	A			
	②住民の参加	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	A		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A					⑦住民の満足度	A		
	④各種団体との連携	A			事業継続の必要性		○有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 地域内の各団体で構成された実行委員会を中心に多くの参加者による植林活動を行うことができ、新聞等の報道機関にも取り上げてもらうなど活動を広く周知を行うことができた。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域防災対策事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	227,000	
2	合計 (A)	227,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	62,648	お茶(ペットボトル500ml)	53,760
			発電機用ガソリン	2,269
			(防災訓練用)	
			消耗品(防災かまど体験用)	1,660
			賄い材料費	4,959
(防災かまど体験用)				
2	役務費	5,000	クリーニング代	5,000
			(避難所毛布借用分)	
3	使用料及び賃借料	0		0
4	合計 (B)	67,648		

収支差額 (A) - (B)	159,352
----------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域青色パトロール推進事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	152,000	
2	合計 (A)	152,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	748	消耗品 (テープのり) 748
2	役務費	34,100	ボランティア活動保険 21,500 往復はがき 12,600 (青パト総会用)
3	使用料及び賃借料	75,560	AEDリース料(年払い) 69,960 (令和6年4月～令和7年3月) 立体駐車場使用料 5,600 (青パト総会用)
4	合計 (B)	110,408	

収支差額 (A) - (B)	41,592
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	備蓄非常食購入事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	1,000	
2	合計 (A)	1,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	1,184	消耗品 (A4ラベル用紙) 1,184
2	合計 (B)	1,184	

収支差額 (A) - (B)	▲ 184
----------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	39,000	
3	合計 (A)	39,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	1,649	啓発用品 (チビッ子運動会) 1,649
2	使用料及び賃借料	0	
3	合計 (B)	1,649	

収支差額 (A) - (B)	37,351
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	ふれあい会食会事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	285,000	
2	負担金	23,600	
3	合計 (A)	308,600	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	209,301	賄材料費・弁当代	194,321
			消耗品(容器等)	4,810
			啓発用品代 (ゲームの賞品)	10,170
2	使用料及び賃借料	9,100	施設使用料	8,500
			エアコン使用料	600
3	合計 (B)	218,401		

収支差額 (A) - (B)	90,199
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	福祉講演会事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	54,000	
2	合計 (A)	54,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000 (@3,000×2h)
2	需用費	0	0
3	使用料及び賃借料	0	
4	合計 (B)	6,000	

収支差額 (A) - (B)	48,000
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	高齢者交流事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	54,000	
2	合計 (A)	54,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	32,470	スタッフ弁当 5,200 (歩こう会・運動会) 啓発用品 27,270 (歩こう会・運動会用)
2	合計 (B)	32,470	

収支差額 (A) - (B)	21,530
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区
憶地域まちづくり推進委員会

事業名	一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業
-----	-------------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	343,000	
2	負担金	5,700	
3	合計(A)	348,700	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	12,000	講師謝金 12,000 (@6,000×2h)
2	需用費	75,019	スタッフ弁当 34,400 啓発用品(干潟観察会用) 7,747 消耗品(ゴム手袋、ゴミ袋) 13,273 消耗品(水分補給対策用) 15,664 草刈機の替刃 3,935
3	使用料及び賃借料	72,000	軽トラック使用料 6,000 (@2,000×3台分) テント使用料(観察会用) 66,000
4	合計(B)	159,019	

収支差額(A) - (B)	189,681
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	新別府川・江田川等をきれいにする事業
-----	--------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	140,000	
2	合計 (A)	140,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	82,489	スタッフ弁当代	21,980
			消耗品(水槽用)	16,387
			消耗品(ホタル飼育用)	15,523
			消耗品(水分補給対策用)	1,452
			陸上がりキット材料費	4,256
			草刈機用替刃・混合油	8,196
			ミニ水族館用水槽他	8,417
			胴付長靴	6,278
2	使用料及び賃借料	22,000	軽トラック使用料 (@2,000×11台)	
3	合計 (B)	104,489		

収支差額 (A) - (B)	35,511
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域花いっぱい運動事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	168,000	
2	合計(A)	168,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	48,426	スタッフ弁当	18,800
			花の種	4,500
			(ひまわり, コスモス, 球根)	
			福島ひまわりの種	20,000
			消耗品(カマ, 振るい資機材)	
2	役務費	2,153	消耗品(水分補給対策用)	5,126
			振込手数料	203
3	使用料及び賃借料	26,000	ひまわりの種送料	1,950
			軽トラック使用料	6,000
4	合計(B)	76,579	(@2,000×3台)	
			トラクター使用料	20,000

収支差額(A) - (B)	91,421
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域まちづくり掲示板設置事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	304,400	
2	合計 (A)	304,400	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	40,700	掲示板修理 5,500 (高洲地区) ガラス交換修理費 35,200 (浮城自治公民館)
2	備品購入費	0	
3	合計 (B)	40,700	

収支差額 (A) - (B)	263,700
----------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域人材育成事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	354,000	
2	負担金	176,700	視察研修参加費 168,000 (@8,000×21名分) 事務局委員参加費 8,700 (@2,900×3名分)
3	合計(A)	530,700	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	0	
3	使用料及び賃借料	664,800	中型バス使用料 664,800 (熊本視察研修)
4	負担金	0	
5	合計(B)	664,800	

収支差額(A) - (B)	▲ 134,100
---------------	-----------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域健康づくり事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	62,000	
2	負担金	5,900	
3	合計 (A)	67,900	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	30,513	啓発用品(ミニバレー用) 7,712 消耗品(ミニバレーボール) 3,718 消耗品(水分補給対策用) (ミニバレーボール用) 5,511 消耗品(水分補給対策用) (歩こう会用) 6,572 スタッフ弁当代 7,000
2	役務費	0	0
3	合計 (B)	30,513	

収支差額 (A) - (B)	37,387
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	ニュースポーツ体験事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	104,000	
2	合計 (A)	104,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	3,000	講師謝金 3,000 (@1,500×2名分)
2	需用費	0	0
3	合計 (B)	3,000	

収支差額 (A) - (B)	101,000
----------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	あおきの文化の継承・発掘・保存事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	189,000	
2	合計 (A)	189,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	12,000	講師謝金 12,000 (@3,000×2h×2回)
2	需用費	19,080	豆絞り和タオル 17,600 (@176×100枚) 消耗品(CDケース) 1,480
3	役務費	7,500	法被クリーニング代 7,500 (@500×15枚)
4	委託費	0	
5	合計 (B)	38,580	

収支差額 (A) - (B)	150,420
----------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	あおきのカレンダー制作事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	201,000	
2	合計 (A)	201,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	176,000	カレンダー印刷費 176,000 (1000部, デザイン料含む) (2025.4月~2026.3月)
2	役務費	0	
3	合計 (B)	176,000	

収支差額 (A) - (B)	25,000
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	未来につなぐ体験スクール事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	67,000	
2	負担金	1,900	参加費(@100×19名)
3	合計(A)	68,900	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	17,141	消耗品(カレー材料費他) 12,170 消耗品 3,621 (スポンジ, 洗剤, 紙皿等) 油抽出用ピーナッツ 1,350
3	合計(B)	17,141	

収支差額(A) - (B)	51,759
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	あおき地域すごろくゲーム作成事業
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	213,000	
2	合計 (A)	213,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	159,500	すごろく台紙・解説 159,500 (200部印刷代)
2	役務費	0	
3	合計 (B)	159,500	

収支差額 (A) - (B)	53,500
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（憶北小学校）
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	80,000	
2	合計 (A)	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	18,000	講師謝金 18,000 (@1,500×4h×2名) (@1,500×2h×2名)
2	需用費	21,680	お茶(ペットボトル500ml) 1,680 アイガモ米用 20,000 (苗代)
3	役務費	0	0
4	使用料及び賃借料	36,000	トラクター・コンバイン 36,000 使用料
5	合計 (B)	75,680	

収支差額 (A) - (B)	4,320
----------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（憶小学校）
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	80,000	
2	合計（A）	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000 (@1,500×2h×2回)
2	需用費	29,680	カラー不織布はっぴ 29,680 (@280×106枚)
3	役務費	0	0
4	合計（B）	35,680	

収支差額（A）－（B）	44,320
-------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（宮崎港小学校）
-----	--------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	80,000	
2	合計 (A)	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	61,445	むかし遊び教材一式 54,845 屋上非常用鍵 6,600 カバーシリンダー
2	使用料及び賃借料	3,000	トラクター使用料 3,000
3	合計 (B)	64,445	

収支差額 (A) - (B)	15,555
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（潮見小学校）
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	80,000	
2	合計(A)	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000 (@3,000×2h)
2	需用費	1,680	お茶代(ペットボトル500ml) 1,680
3	合計(B)	7,680	

収支差額(A) - (B)	72,320
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（憶中学校）
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	82,000	
2	合計（A）	82,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000 (@3,000×2h)
2	需用費	29,087	お弁当代(交流会用) 21,600 消耗品(水分補給対策) (中央公園花壇用) 2,568 (一ツ葉入江清掃用) 4,919
3	合計（B）	35,087	

収支差額（A）－（B）	46,913
-------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	地域と学校の連携事業（宮崎中学校）
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	82,000	
2	合計(A)	82,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	0
2	需用費	44,032	消耗品(中央公園花壇用) 978 消耗品(水分補給対策) (中央公園花壇用) 4,947 (ひまわり種発送準備用) 1,932 啓発用品(クリアーホルダー) 11,711 お弁当・パン代 24,464
3	使用料及び賃借料	5,000	トラクター使用料 5,000
4	合計(B)	49,032	

収支差額(A) - (B)	32,968
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくりの祭典inあおき事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	894,000	
2	受益者負担金	0	
3	負担金	150,000	憶地区社会福祉協議会
2	自己資金	61,860	ジュース, 焼いも等
4	合計 (A)	1,105,860	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	458,231	もの作り材料代	30,575
			啓発用品(せんぐ他)	113,219
			賄材料代	24,883
			消耗品(賄容器代他)	29,300
			燃料費(炭・ガス代)	5,480
			花火代	5,500
			スタッフ弁当代(前日準備)	2,400
			スタッフ昼食代(当日)	102,850
			お茶・ジュース飲料水	93,204
			祭典チラシ(11,000枚)	50,820
2	役務費	23,937	臨時営業許可申請手数料	3,500
			クリーニング代	16,000
			施設賠償責任保険	4,020
			振込手数料	417
3	委託料	554,985	会場設営一式	495,990
			駐車場整理係代	58,995
4	使用料及び賃借料	58,048	ステージ用車借用料	20,000
			ステージ用車借用料PA資 機材費	30,000
			横断幕用足場リース料	8,048
5	合計 (B)	1,095,201		

収支差額 (A) - (B)	10,659
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶・生日交流事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	70,000	
2	合計 (A)	70,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000 (@3,000×2名分)
2	需用費	5,634	スタッフ弁当代 4,200 消耗品 1,434 (文化祭用品)
3	使用料及び賃借料	4,000	文化祭出店料 4,000
4	合計 (B)	15,634	

収支差額 (A) - (B)	54,366
----------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区
憶地域まちづくり推進委員会

事業名	曾於市憶地区交流事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	31,000	
2	合計(A)	31,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	0	
2	役務費	1,800	切手 1,800
3	合計(B)	1,800	

収支差額(A) - (B)	29,200
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	新築移転時の事務器購入積立事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	100,000	
2	合計 (A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	積立金	100,000	2回目/5年計画
4	合計 (B)	100,000	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	憶地域まちづくり推進委員会運営事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	2,511,600	
2	繰越金	1,723,879	
3	負担金	200,000	印刷機助成金
4	自己資金	28,532	預金利息他
5	合計(A)	4,464,011	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	0	0
2	手当	1,076,580	事務局時間外 1,076,580
3	旅費	0	研修会参加交通費等 0
4	需用費	2,272,347	印刷費(インク・用紙代) 957,353 消耗品 49,656 お茶(ペットボトル他) 183,480 広報誌(あおき2回) 1,000,500 啓発用品 20,000 燃料費(まち車ガソリン) 50,358 倉庫修繕費 11,000
5	役務費	391,334	通信費(切手・ハガキ代) 34,638 通信費(部会委員) 58,000 部会員活動保険料 45,000 行事用保険料 51,700 電話料 66,976 インターネット料 36,960 車両保険料 81,510 振込手数料, 設置手数料 16,550
6	使用料及び賃借料	360,670	花スタンド使用料 3,500 まち車車両リース料金 250,250 印刷機リース料 48,840 噴霧器(コロナ対策用) 58,080
7	合計(B)	4,100,931	

収支差額(A) - (B)	363,080
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

事業名	みんなで守ろうーツ葉の海岸林事業
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	47,000	
2	県からの補助金	442,000	
3	助成金	40,000	自治会連合会より
4	合計 (A)	529,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	委託金	444,000	(一財) みやざき公園協会
2	報償費	7,000	優秀賞賞品 7,000 (図書券@1,000×7枚)
3	需用費	0	0
4	合計 (B)	451,000	

収支差額 (A) - (B)	78,000
----------------	--------

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

憶地域自治区

憶地域まちづくり推進委員会

積立金名称	災害時等対応積立事業
-------	------------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	3,000,000	
2	積立額	0	
3	取崩額	0	
4	合計	3,000,000	

積立金名称	新築移転時の事務器等購入積立事業
-------	------------------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	100,000	
2	積立額	100,000	
3	取崩額	0	
4	合計	200,000	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計		

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年3月31日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市吉村町江田原甲265-1
名 称 憶地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 松竹 昭彦
電 話 番 号 (0985) 28-0101

令和6年9月17日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において2,014,820円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します。届出書にて届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金 2,014,820円
特例交付金 0円

添 付 書 類

令和6年度収支決算書

(様式第8号)

令和6年度 檜地域まちづくり推進委員会への意見書〔事業実施報告〕

地域自治区地域協議会
会長 井野 三男

令和6年度の檜地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、第4回檜地域自治区地域協議会において協議した結果、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 総括

繰り越しについては事業ごとの開きが大きいため、理由を整理して内部で検討するようにしていただきたい。

2. 事業の推進体制

特にありません。

3. 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
学校と地域の連携事業	管内の小中学校がそれぞれに工夫した内容で取り組んでおられ、素晴らしい事業となっている。

4. その他